



第157回定期演奏会

純粋と深遠なるペーソス

2017

9/29(金)

18:00開場
18:45開演
6/15発売

指揮／松尾葉子(当団特別客演指揮者)
ヴァイオラ／百武由紀

コダーイ

ガランタ舞曲

ハンガリー民謡「孔雀」による変奏曲

バルトーク

ヴァイオラ協奏曲(シェルイ補筆版)

舞踏組曲

第158回定期演奏会

モノラル・ステレオが交差する素朴な旋律

2017

11/24(金)

18:00開場
18:45開演
8/3発売

指揮／レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督)
ヴァイオリン／アンドレイ・バラノフ

グリムカ

歌劇「ルスランとリュドミラ」Op.5 序曲

プロコフィエフ

ヴァイオリン協奏曲第2番ト短調Op.63

チャイコフスキー

交響曲第5番ホ短調Op.64



9月28日(木) 第157回定期演奏会プレイベント

入場無料

会場／名古屋文理大学文化フォーラム

先着200名

- 10:30～11:20「公開講座」小ホール
- 12:00～13:00「公開リハーサル」大ホール

公開講座…@FM「おはクラ・サタデー」でおなじみの山本雅士が定期演奏会で取り上げる楽曲や作曲者まつわるエピソードを紹介します。
公開リハーサル…オーケストラが曲を作り上げていくリハーサルの一部を公開します。イヤホン付きFMラジオで館内FM放送によるリハーサル内容の実況解説をお聴きいただけます。(解説をお聴きになりたい場合はイヤホン付きFMラジオをご持参下さい)

お問い合わせ／名古屋文理大学文化フォーラム ☎0587-24-5111(稲沢市正明寺3丁目114)

11月22日(水) 第158回定期演奏会プレイベント

入場無料

会場／名古屋文理大学文化フォーラム

先着200名

- 10:30～11:20「公開講座」小ホール
- 12:00～13:00「公開リハーサル」大ホール

三井住友海上しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15(地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

入場料 A席4,300円 B席3,200円 C席2,200円 学生席1,000円他
※未就学児の入場不可 (座席指定の場合は各席半額)

プレイガイド

- 電子チケットぴあ ☎0570-02-9999 [9/29(Pコード321-762)] [11/24(Pコード321-765)]
- カワイ名古屋 ☎052-962-3939
- 愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
- しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117

お問い合わせ・チケット取扱い

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851

主催／一般社団法人セントラル愛知交響楽団
共催／中日新聞社 後援／愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・@FM
協賛／三井住友海上しらかわホール・名古屋ホストン美術館・名古屋市美術館

助成／文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)



クラシック音楽聴くなら セントラル愛知交響楽団



http://www.caso.jp チケットはホームページから申込み頂けます。



セントラル愛知交響楽団定期演奏会2017-2018

第157回定期演奏会 ～純粋と深遠なるベートーヴェン～



指揮 松尾葉子(当団特別客演指揮者)

Yoko Matsuo

1982年フランスのプザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝という壮挙により、一躍注目を集める。名古屋生まれ。1981年国際ロータリー財団の奨学生としてフランスに留学、パリ・エコール・ノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。1982年帰国後名古屋フィルを指揮し、名古屋デビュー。1983年『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮。二期会公演の『メリー・ウイドウ』を指揮してオペラデビュー。1990年労働省婦人週間のポスターになる。TOYP世界大賞受賞。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。2001年ニューヨーク・カーネギーホールにてベートーヴェンの第九を指揮。著書『指揮者にミューズが微笑んだ』(2003年論創社)、『指揮者、この瞬間』(2008年樹立社)がある。中日新聞・東京新聞コラム執筆。2006年中日新聞「エンタ目」執筆。自身の編曲による、女声合唱のための「6つのエスプリ」出版(オフィス・リラン)。1992年より水彩画を大潮会展に出展。2008年、東京藝術大学指揮科招聘教授。2015年4月より愛知県立芸術大学客員教授。海外での活躍は1982年以来、プザンソン交響楽団、パリ・ラムルー管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音等を手掛ける。現在、セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者、アンサンブル・フォルテ指揮者、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ音楽監督、女声合唱団マドンナ「かきつばた」ディレクターを務める。2017年、平成28年度愛知県芸術文化選奨文化賞受賞、7月に記念演奏会を開催。



ヴァイオリン 百武由紀

Yuki Hyakutake

東京芸術大学付属高校を経て、同大学卒業、同大学院修了。宮中桃華楽堂新人演奏会に出演。井上武雄、浅妻文樹、ウイリアム・プリムローズ、セルジュ・コロ各氏に師事。第1回木曾福島国際音楽祭にて、恩師プリムローズと共演。1999年まで東京都交響楽団に在籍し、首席奏者を務めた。シノーポリ・ワールドフィルハーモニー日本代表。邦人作品、現代曲の初演も多数手掛けており1999年日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対して、審査員特別賞を受賞。2002年芸術祭参加リサイタル「フランス・ヴァイオリン作品の音脈をたどって」を開催し好評を博す。数々の国内外の音楽祭に出演。また外来演奏家との共演も多数。『どのようなアンサンブルにあって、常に音楽を活性化出来る類い稀なヴァイオリン奏者』との評価を得る。弦楽四重奏団「クワトロ・ピアチェーリ」において第65回文化庁芸術祭大賞受賞。東京シンフォニエッタメンバー。2010年第10回佐治敬三賞受賞。愛知県立芸術大学教授。名古屋音楽大学客員教授、東京藝術大学、東京音楽大学講師。

第158回定期演奏会 ～モノラル・ステレオが交差する素朴な旋律～



指揮 レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督)

Leoš Svárovský

チェコ生まれ。ブラハ芸術アカデミーでノイマンに学び、ブラハ国民歌劇場においてはコシュラーの下で副指揮者を務めた。その後、ブラハ室内歌劇場、ヤナーチェク・フィル、ブルノ・フィル、ブラハ国民劇場バレエ管などの首席指揮者を歴任。また、2003～2005年にはブラハ国立歌劇場芸術監督及び首席指揮者を務めた。これまでにシュターツカペレドレステン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、リンツ・ブルックナー管、モスクワ放送チャイコフスキー響などに客演している。チェコ・フィルには定期的に客演している。また、スーク、オイストラフ、リッチャレリ、パターら名演奏家との共演を重ねている。ブラハの春、ブラハの秋、バイロイトなど著名音楽祭への参加も多い。現在スロヴァキア・フィル常任客演指揮者、ブルノ・フィルハーモニー協会名誉会員、ブラハ芸術アカデミー准教授を務めている。スロヴァキア・フィル、ブルノ・フィル、ブラハ国立歌劇場、ザルツブルク・モーツァルテウム管などの日本公演をいずれも成功に導く一方、国内オーケストラの客演の機会も多く、日本での評価を着実に高めている。中でも2010年7月の都響創立45周年記念特別公演「売られた花嫁」はサンアリーホールで大喝采の渦に巻き込んだ。2014年4月、セントラル愛知響音楽監督に就任。2015年7月、スロヴァキア・フィルとの合同演奏によるマラー「巨人」の成功は記憶に新しい。また昨年9月の当団定期第150回記念公演ではスロヴァキア国立歌劇場のソリストたちを招きドヴォルザークの「スターバト・マテル」を演奏。聴衆の熱烈な反応をよんだ。



ヴァイオリン アンドレイ・バラノフ

Andrey Baranov

1986年ロシア・サンクトペテルブルクの音楽一家のもとに生まれ、5歳よりヴァイオリンを始める。リムスキー＝コルサコフ記念サンクトペテルブルク音楽院、ローザンヌ音楽院にて学ぶ。これまでにヴァイオリンをレフ・イヴァチェンコ、ウラディミール・オフチャレック、ピエール・アモイヤルの各氏に師事。B.クシニール、L.イサカゼ、K.カシユカシアン他多くのマスタークラスに参加。2005年のV.パトレンコ指揮によるサンクトペテルブルク・フィルハーモニーホールでのデビュー以来、ボザール劇場(ベルギー)やコンセルトヘボウ(アムステルダム)、ゲヴァントハウス(ライプツィヒ)、コンツェルト(ベルリン)、モーツァルテウム大ホール(ザルツブルク)、チャイコフスキー・コンサートホール(モスクワ)など世界中の名だたるホールにて演奏を行っている。2012年、エリザベト王妃国際コンクールにて圧倒的な支持を得て優勝。この他、ベンジャミン・ブリテン国際ヴァイオリン・コンクール、アンリ・マルト国際ヴァイオリン・コンクールでも優勝。インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクール、ソウル国際音楽コンクール、仙台国際音楽コンクール、ダヴィッド・オイストラフ国際音楽コンクール、パガニーニ国際コンクールなど20以上もの国際コンクールで入賞を果たしている。また2012年に設立されたダヴィッド・オイストラフ弦楽四重奏団ではファースト・ヴァイオリンを務めている。これまでに、Y.テミルカーノフ、V.フェドセーエフ、T.クルレンツィス、V.ペトレンコ、N.アレクセーエフ、M.タビシュニク、W.ヴェラー、E.クリヴィヌら多くの指揮者のもと、ルクセンブルク・フィル、ブリュッセル・フィル、ベルギー国立管、サンクトペテルブルク・フィル、仙台フィル、ロイヤル・フィル、シュトゥットガルト放送など世界を牽引する国際的なオーケストラとの共演も多数重ね、またマルタ・アルゲリッチ、エリク・ヴィルサラゼ、ジュリアン・ラクリン、ボリス・アンドリアノフ、ピエール・アモイヤル、リアナ・イサカゼらとも共演。若冠23歳でピエール・アモイヤルの助手としてローザンヌ音楽院にて教鞭を取りはじめ、シカゴやバンコク、リガ、ヴェリニウス、ストックホルム、マンチェスター、モスクワなど世界各地に招かれてマスタークラスを開催している。これまでに演奏がNHKほかスイス、フィンランド、アメリカなど世界中で放送された。オフィシャルHP <http://www.baranov.com>



指揮 / レオシュ・スワロフスキー
Leoš Svárovský



コントラバス / アレクサンドル・シーロ
Alexandr Shilo

1月定期演奏会のご案内

第159回定期演奏会 9/28(木)発売

～華麗なる異邦人的パッセージ～

2018年1月26日(金) 18:45開演
三井住友海上しらかわホール

指揮 / レオシュ・スワロフスキー(当団音楽監督)
コントラバス / アレクサンドル・シーロ

ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」Op.9
クーセヴィツキー:コントラバス協奏曲嬰へ短調Op.3
ベートーヴェン:交響曲第2番二長調Op.36